

I
地域研究
プロジェクト

II
北近畿地域連携
シンポジウム

III
北近畿
地域連携会議

IV
顔の見えるセンター
委員紹介VOL.1

北近畿地域連携センター



NEWSLETTER

Vol.2

I 地域研究プロジェクト

報告

2018年7月25日(水)、平成30年度福知山
公立大学地域教育研究プロジェクト成果報告会が
開催されました(共催：実践教育専門委員会)。

今年度は昨年度まで「教員プロジェクト」として実
施したプロジェクトを、「地域研究プロジェクト」に
名前を変え、教育研究活動及び地域貢献を促進するた
めの調査研究に取り組んでいます。この日は平成29
年度に実施した7つのプロジェクトの成果報告が実施
されました。また、当日は報告会の後に交流会も開催
され、参加者40名が交流。市民の方と大学が活発に
意見を交わす場にもなりました。



写真
地域研究
プロジェクト
成果報告会の
様子

参加された方からは「継続して研究の内容を追い
かけたいと思いました」。「今回の研究成果発表
がもっと盛んに行ってほしい」。「福知山市以外
の綾部市、舞鶴市などでも行ってほしい」といっ
た感想が寄せられました。

今年度も7つの地域研究プロジェクトが採択さ
れ、本学教員が地域に出て研究を進めていくこと
になっています。

II 北近畿地域連携シンポジウム

報告

2018年7月21日(土)、北近畿地域連携シンポ
ジウムが京丹後市アグリセンター大宮で開催され
ました。(共催：京丹後市、北近畿地域連携会議)

第1回は「北近畿における公共交通と高齢ドライ
バー」を演題に、手塚山大学学長の蓮花一己氏(交
通心理学)を招請し、高齢者の運転特性について動
画なども交え、話題提供いただきました。

第2部のパネルディスカッションでは、登壇者に
京丹後市長の三崎政直氏と(株)和田山自動車教習
所代表取締役の藤原哲也氏に加わっていただき、富
野暉一郎副学長のコーディネートのもと、①高齢者
特性による事故を防止するための教習や学び直しの
あり方、②免許返納後も安心して生活するための地
域公共交通システムのあり方について議論し、「自
助・共助・公助」のあり方を今一度見つめ直す時期
にきていることを確認する場となりました。後日、
新聞にも掲載いただきました。

写真

北近畿地域連
携シンポジウ
ム パネルディ
スカッション
の様子



Kita-re

第2回北近畿 地域連携シンポジウム

案内

第2回は、合併問題の専門家で、自らの地域で地域（コミュニティ）と行政（ガバメント）との距離を縮める研究と実践を展開する花巻市コミュニティアドバイザーの役重眞喜子さんを招請し、現在の地域創生、地域づくりをめぐって何が一番議論すべきポイントなのか、何が本質の問題なのか、最新の研究動向も踏まえ基調報告をいただきます。後半は地域活動の実践者3名にもご登壇いただき、パネルディスカッションを行います。

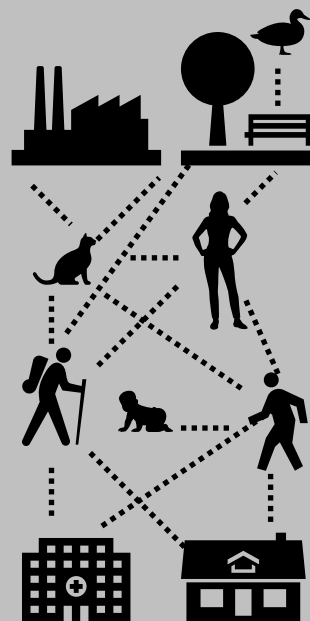
○日 時：2018年10月13日（土）10:00～12:30

○会 場：市民交流プラザふくちやま市民交流スペース

○主 催：福知山公立大学

○共 催：福知山市

○テーマ：地域コミュニティと自治体のよりよい「つながりかた」を考える



年間スケジュール

北近畿地域連携シンポジウム

福知山公立大学 The University of Fukuchiyama	
北近畿地域連携シンポジウム 年間予定	
第1回 京丹後市	北近畿地域における 公共交通と高齢ドライバー 2018 7.21 会場 アグリセンター大宮 講師/蓮花 一己氏 福知山大学 学長
第3回 舞鶴市	日本海新時代とグローカリズム 2018 11.3 会場 未定 講師/李相哲氏 福知山大学 社会学部教授
第4回 資力市	農福連携を通じた障害者の社会参加 2018 11.27 会場 八鹿公民館 講師/濱田 健司氏 京都府福祉政策研究センター 研究員
第5回 豊岡市	地域とAIについて考える 2018 12.20 会場 豊岡市役所 講師/西田 豊明氏 京都大学大学院 情報学研究所教授
第6回 福知山市	明智光秀と福知山 2019 2.24 会場 調整中 講師/調整中



日直
兵京
庫都



Ⅲ 北近畿地域連携会議

報告

本センターが事務局を務める北近畿地域連携会議では、3つすべての研究会において、1回目の研究会が終了しました。

すべての研究会で、昨年度の調査や分析により、地域の課題や解決に向けた筋道が見えてきており、研究会①（免許返納）と研究会②第2分科会（面的観光）は地域公共交通を再考する上では、居住／観光の裏表関係にあることも見えてきました。

研究会会員である民間の実務家の皆さんの意見を伺っていると、社会貢献のつもりで依頼されて始めた事業も、意外とニーズがあり、それなりに手応えを得られている様子も伺えます。堅い会議ではなく出席者がワクワクする研究会になりつつあります。

また、研究会②第1分科会(若者定着)では、地域産業の担い手である若者に関する意識調査に加え、今年度は都市へ送り出す親御さんの意識調査を検討しています。

今後も、エビデンス把握により問題の本質を明らかにし、実際に産業や生活面から一人ひとりが理想的な未来を手繰り寄せていけるアプローチについて提言や報告を行うための活動を続けて参ります。



写真：研究会②第1分科会[若者定着]

topics

研究会①（免許返納）では、9月27日（木）に、たとえ免許返納をしても、安心して不自由なく生活していく仕組みづくりを検討するために、地元のタクシー業界とUber社による観光政策の取り組みを始めた兵庫県淡路県民局（淡路島）に訪問調査を行いました。



写真：淡路島訪問調査の様子[免許返納]

次号より、ニュースレターにて北近畿地域連携会議で活躍中の会員のみなさんを紹介して参ります。

北近畿地域連携会議とは

北近畿地域において、従来、縦割りで分断されてきた様々な民間の知恵や経験、そして蓄積されてきた力の連携・協力を組織化し、地域社会と大学双方の豊かな社会的資源を活用する“知恵と連帯の拠点”となるべく、平成29年5月16日に北近畿地域内に拠点を置く46社の民間団体により設立された民間主導のシンクタンクです。

本学は「市民の大学」「地域のための大学」「世界と共に歩む大学」を基本理念に掲げて、平成28年度に開学した若い大学です。

福知山市が設置者である本学は、公立大学として福知山市のためのみならず北近畿地域全域のための大学として、地域に果たすべき社会的責任は大変重いものと自覚しています。その大学において、北近畿地域連携センターは、地域の皆様と大学とをつなぐ連携・協働の窓口や地域シンクタンクの事務局として、重要な役割を担っています。

今年度からはセンター長として、スタッフ一同、力を合わせ、強みを生かし、独自性を高めながら、今後もより地域の皆様と大学の連携が深いものになるよう尽力する所存です。また、学内に新設したKita-reも、ぜひご利用・ご活用いただけますよう、お願いいたします。

委員紹介

医師で医学系科目を担当していますが、医療情報やデータ分析も研究テーマとしており、メタボ健診の医療費への影響、病床機能報告やDPCデータの地域医療構想への活用等を研究するとともに学生実習にも活用しています。

この他、ネット上に公開された様々な地域データを自在に分析する「データウェアハウス」の構築とも取り組んでいます。たとえば、地域によってどのような酒が好まれるか？は国税庁統計を見れば税務署単位でウィスキー、ビール、清酒といった種類別の消費量がリッター数でわかります。国統計は市町村単位が限界ですが、各市町村が独自に公表する統計データは「字」など小地域の集計もあります。

可能であれば北近畿の市町村分だけでもデータウェアハウス化してシンクタンクとしての機能に貢献したいと考えています。

編集後記

早いもので、着任から3ヶ月が経ちました。日々、目の前のことに精一杯ですが、中長期的なビジョンを掲げて走り続けています。

今日は、私の担当する「北近畿地域連携会議」についてお話しします。「会議」というと「堅苦しくてつまらない」、「形式上のもの」といった声も伺います。当会議では、そうした声とは裏腹に、ワクワクと前のめりになって、「あの手はどうか、この手はどうか」、「実は最近この手が通用する傾向にある」といった新しい一手を探求する未来志向な姿に出会います。それぞれが「個」の強みや役割を活かしながら、集って知恵を持ち寄り戦略を立てる姿は、まるでサッカー選手の様です。引き続き、基礎と地縁に強い「チーム北近畿」で気持ちよくプレーしていただけるよう場づくりに励みます。

コーディネーター／佐野 光平



北近畿
地域連携センター長



杉岡 秀紀
地域経営学部地域経営学科准教授

委員



岡本 悦司
地域経営学部医療福祉経営学科教授

発行者
福知山公立大学
北近畿地域連携センター

住所
京都府福知山市字掘3370

電話：0773-24-7151
FAX：0773-24-7152
E-mail:
kita-re@fukuchiyama.ac.jp

発行人：杉岡 秀紀
編集人：佐野 光平

発行日：2018年9月30日